(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第6492465号
(P6492465)

(45)発行日　平成31年4月3日(2019.4.3)　(24)登録日　平成31年3月15日(2019.3.15)

(51)Int.Cl.			F I		
G09G	5/22	(2006.01)	G09G	5/22	660A
G06F	3/14	(2006.01)	G06F	3/14	310C
G09G	5/32	(2006.01)	G06F	3/14	310D
			G09G	5/32	640Z

請求項の数 6　(全 15 頁)

(21)出願番号　特願2014-176481(P2014-176481)
(22)出願日　平成26年8月29日(2014.8.29)
(65)公開番号　特開2016-51079(P2016-51079A)
(43)公開日　平成28年4月11日(2016.4.11)
審査請求日　平成29年8月29日(2017.8.29)

(73)特許権者　390002761
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
東京都港区港南２丁目１６番６号
(73)特許権者　592135203
キヤノンＩＴソリューションズ株式会社
東京都品川区東品川２丁目４番１１号
(74)代理人　100189751
弁理士　木村　友輔
(72)発明者　本荘　敦士
東京都品川区東品川２丁目４番１１号　キヤノンＩＴソリューションズ株式会社内
(72)発明者　三野　敬介
東京都品川区東品川２丁目４番１１号　キヤノンＩＴソリューションズ株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】情報処理装置、その制御方法及びプログラム

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
レイアウトが異なる複数の画面で共通して用いられる項目について、それぞれの画面における当該項目に表示可能な文字数を特定する特定手段と、
当該それぞれの画面における項目に表示される統一された項目名称を、前記特定手段により特定された当該それぞれの画面における項目に表示可能な文字数に基づき決定する決定手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
前記レイアウトが異なる複数の画面とは、前記項目に表示可能な文字数が異なる複数の画面であることを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記特定手段は、遷移先の画面と遷移元の画面を含む複数の画面における項目に表示可能文字数を特定することを特徴とする請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記特定手段により特定された前記複数の画面において共通して用いられる前記項目に表示可能な文字数のうち最小文字数を特定する最小文字数特定手段と、
を備え、
前記決定手段は、前記最小文字数特定手段により特定された最小文字数におさまるように、前記統一された項目名称を決定することを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項

に記載の情報処理装置。
【請求項５】
情報処理装置において、
レイアウトが異なる複数の画面で共通して用いられる項目について、それぞれの画面における当該項目に表示可能な文字数を特定する特定工程と、
当該それぞれの画面における項目に表示される統一された項目名称を、前記特定工程により特定された当該それぞれの画面における項目に表示可能な文字数に基づき決定する決定工程と、
を含む制御方法。
【請求項６】
情報処理装置を、
レイアウトが異なる複数の画面で共通して用いられる項目について、それぞれの画面における当該項目に表示可能な文字数を特定する特定手段と、
当該それぞれの画面における項目に表示される統一された項目名称を、前記特定手段により特定された当該それぞれの画面における項目に表示可能な文字数に基づき決定する決定手段として機能させるためのプログラム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
情報処理装置、その制御方法及びプログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
昨今、企業の海外進出にあたり自国で開発したシステムを海外向けに改修することがされている。例えば、画面の日本語表記を他言語に変更する等、言語の異なる複数国での使用を前提とした多言語対応システムの開発が多くなってきている。
【０００３】
従来、ユーザの選択する言語により文字列を表示する技術が知られている（例えば特許文献１）。多言語に対応する画面を予め作成しておく必要があるが、言語の相違による項目名称の文字長が様々であり、複数の言語毎に、文字長に合わせた項目（項目名称の配置部）の長さ調整、項目の配置位置の決定及び配置などの画面の作成作業を手作業でする必要があった。
【０００４】
これに対し、例えば特許文献２では、画面に表示する文字長を特定し、各項目が重ならないように、項目の配置を変更して画面を自動生成（レイアウト）する技術が開示されている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００５】
【特許文献１】特開２００８－７６５１０号公報
【特許文献２】特開平１１－５２９３７号公報
【特許文献３】特開２０１３－８４０８４号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
しかしながら、特許文献２に技術に従って画面のレイアウトを変更した場合、画面内の項目数や各項目名称の長さに応じて画面自体が長大になってしまい、レイアウトが大きく崩れてしまう。また、場合によっては画面の端にある項目を選択・入力するために、都度画面をスクロールする操作が必要となり、ユーザの操作性を低下させてしまうことが考えられる。
【０００７】

例えば特許文献３には、画面の幅に合わせて項目を表示できるよう、項目名称の文字列を短縮文字に変更することが記載されている。しかし、例えば、複数の画面から構成され、異なる画面で同一項目を使用して画面間を遷移するようなシステムにおいては、画面ごとに項目の表示可否を判断して短縮文字又は正式文字を採用するようにしてしまうと、同一項目であるにも関わらず画面ごとに項目名称の表示（正式名称　又は　短縮名称）が異なる可能性があり、不便である。

【０００８】

本発明は、複数の画面における項目名称の表示可能文字数に応じて、共通の項目名称を容易に決定可能な仕組みを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００９】

本発明の情報処理装置は、複数の画面において共通する項目名称について、各画面における表示可能文字数を特定する特定手段と、前記特定手段により特定された前記表示可能文字数に基づき、複数の画面において共通して表示可能な項目名称を決定する決定手段と、を備えることを特徴とする。

【発明の効果】

【００１０】

本発明によれば、複数の画面における項目名称の表示可能文字数に応じて、共通の項目名称を容易に決定可能な仕組みを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１１】

【図１】本発明の実施形態における、情報処理装置のハードウェア構成の一例を示す図である。

【図２】本発明の実施形態における、情報処理装置の機能構成の一例を示す図である。

【図３】本発明の実施形態における、項目の設定処理の流れを示すフローチャートである。

【図４】本発明の実施形態における、画面の表示処理の詳細を示すフローチャートである。

【図５】本発明の実施形態における、画面の遷移関係の一例を示す図である。

【図６】本発明の実施形態における、各種データテーブルの構成の一例を示す図である。

【図７】本発明の実施形態における、項目表示設定テーブルの構成の一例を示す図である。

【図８】本発明の実施形態における、画面Ａの構成及び項目名称変更の様子の一例を示す図である。

【図９】本発明の実施形態における、画面Ｃ－１の構成及び項目名称変更の様子の一例を示す図である。

【図１０】本発明の実施形態における、グループＧ００１における項目名称変更後の画面Ａ及び画面Ｃ－１の構成の一例を示す図である。

【図１１】本発明の実施形態における、画面Ｂの構成及び項目名称変更の様子の一例を示す図である。

【図１２】本発明の実施形態における、正式名称のポップアップ表示の様子を示す図である。

【図１３】本発明の実施形態における、他の画面グループにおける略称のポップアップ表示の様子を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【００１２】

図１を参照して、本発明の実施形態における、情報処理装置のハードウェア構成の一例について説明する。図１は、本発明の実施形態における、情報処理装置のハードウェア構成の一例を示す図である。

【００１３】

図１において、１０１はＣＰＵで、システムバス１０４に接続される各デバイスやコントローラを統括的に制御する。また、ＲＯＭ１０２あるいは外部メモリ１１１には、ＣＰＵ１０１の制御プログラムであるＢＩＯＳ（Ｂａｓｉｃ　Ｉｎｐｕｔ　／　Ｏｕｔｐｕｔ　Ｓｙｓｔｅｍ）やオペレーティングシステムプログラム（以下、ＯＳ）や、各サーバ或いは各ＰＣの実行する機能を実現するために必要な後述する各種プログラム等が記憶されている。

【００１４】

１０３はＲＡＭで、ＣＰＵ１０１の主メモリ、ワークエリア等として機能する。ＣＰＵ１０１は、処理の実行に際して必要なプログラム等をＲＯＭ１０２あるいは外部メモリ１１１からＲＡＭ１０３にロードして、該ロードしたプログラムを実行することで各種動作を実現するものである。

【００１５】

また、１０５は入力コントローラで、キーボード（ＫＢ）１０９や不図示のマウス等のポインティングデバイス等からの入力を制御する。１０６はビデオコントローラで、ＣＲＴディスプレイ（ＣＲＴ）１１０等の表示器への表示を制御する。なお、図１では、ＣＲＴ１１０と記載しているが、表示器はＣＲＴだけでなく、液晶ディスプレイ等の他の表示器であってもよい。これらは必要に応じて管理者が使用するものである。

【００１６】

１０７はメモリコントローラで、ブートプログラム，各種のアプリケーション，フォントデータ，ユーザファイル，編集ファイル，各種データ等を記憶するハードディスク（ＨＤ）や、フレキシブルディスク（ＦＤ）、或いはＰＣＭＣＩＡカードスロットにアダプタを介して接続されるコンパクトフラッシュ（登録商標）メモリ等の外部メモリ１１１へのアクセスを制御する。

【００１７】

１０８は通信Ｉ／Ｆコントローラで、ネットワークを介して外部機器と接続・通信するものであり、ネットワークでの通信制御処理を実行する。例えば、ＴＣＰ／ＩＰを用いた通信等が可能である。

【００１８】

なお、ＣＰＵ１０１は、例えばＲＡＭ１０３内の表示情報用領域へアウトラインフォントの展開（ラスタライズ）処理を実行することにより、ＣＲＴ１１０上での表示を可能としている。また、ＣＰＵ１０１は、ＣＲＴ１１０上の不図示のマウスカーソル等でのユーザ指示を可能とする。

【００１９】

本発明を実現するための後述する各種プログラムは、外部メモリ１１１に記録されており、必要に応じてＲＡＭ１０３にロードされることによりＣＰＵ１０１によって実行されるものである。さらに、上記プログラムの実行時に用いられる定義ファイル及び各種情報テーブル等も、外部メモリ１１１に格納されているものである。以上が図１の、本発明の実施形態における、情報処理装置のハードウェア構成の一例についての説明である。

【００２０】

次に図２を参照して、本発明の実施形態における、情報処理装置の機能構成の一例について説明する。図２は、本発明の実施形態における、情報処理装置の機能構成の一例を示す図である。

【００２１】

項目名称記憶部２０１は、項目名称（ラベル）のテキストデータを記憶する記憶部である。項目名称は、例えば、日本語の名称、英語の名称、英語の略称がある。項目桁数２０２は、各画面における項目の表示可能桁数を記憶する記憶部である。

【００２２】

画面グループ記憶部２０３は、画面をグルーピングしたグループ情報を記憶する記憶部である。グループ内最小桁数特定部２０４は、項目名称ごとに、当該項目名称が表示される領域（項目）のグループ内における最小桁数を特定する特定部である。項目名称設定部

２０５は、当該グループ内最小桁数におさまるように、項目名称（言語変換後の正式名称または略称）を、項目ごとに設定する設定部である。以上が図２の、本発明の実施形態における情報処理装置の機能構成の一例についての説明である。

【００２３】

次に図５を参照して、本発明の実施形態における、画面の遷移関係の一例について説明する。図５は、本発明の実施形態における、画面の遷移関係の一例を示す図である。

【００２４】

メインメニュー画面はボタン５０１、ボタン５０２、ボタン５０３を備え、ボタン５０１が押下された場合は画面Ａに遷移し、ボタン５０２が押下された場合は画面Ｂに遷移し、ボタン５０１が押下された場合は画面Ｄに遷移する。

【００２５】

ボタンが押下された場合にいずれの画面に表示を遷移させるかについては公知の技術を用いる。当該ボタンと遷移先の画面の対応付けは不図示のデータテーブルに予め設定され、ＰＣ１００の外部メモリに記憶されているものとする。

【００２６】

画面Ａの「倉庫」ボタンが押下されると、画面Ｃ－１に遷移する。また、画面Ａの「品名」ボタンが押下されると画面Ｃ－２に遷移する。画面Ａの「検索」ボタンが押下されると画面Ａ－１に遷移する。画面Ａと、画面Ａから遷移する先の画面（画面Ａ、画面Ａ－１、画面Ｃ－１、画面Ｃ－２）は１つのグループ（画面グループ）として記憶されている。当該グループを示すテーブル（画面グルーピングテーブル６００）については図６の説明で後述する。

【００２７】

また、画面Ｂの「倉庫」ボタンが押下されると、画面Ｃ－１に遷移し、画面Ｂの「品名」ボタンが押下されると画面Ｃ－２に遷移する。よって、画面Ｂ、画面Ｃ－１、画面Ｃ－２も１つのグループである。以上が図５の、本発明の実施形態における、画面の遷移関係の一例についての説明である。

【００２８】

次に図６を参照して、本発明の実施形態における、各種データテーブルの構成の一例について説明する。ここでは、図５の各種データテーブルは、予めＰＣ１００の外部メモリに記憶されているものとする。

【００２９】

画面グルーピングテーブル６００は、各画面を識別する識別情報である画面ＩＤと、画面をグルーピングする識別情報であるグループＩＤの対応付けがされたテーブルである。

【００３０】

画面項目定義テーブル６１０は、各画面に何の項目が定義されているかを記憶したテーブルである。画面ＩＤ６１１は画面の識別情報である。項目ＩＤ６１２は、項目の識別情報である。

【００３１】

ここいう項目とは、例えば、項目名称（ラベル）の表示領域である。項目名称６１３は、画面ＩＤ６１１の示す画面における項目ＩＤ６１２の示す項目に表示される項目名称である。ここでは項目名称＝日本語であるものとする。

【００３２】

表示桁数６１４は、画面ＩＤ６１１の示す画面における、項目ＩＤ６１２の示す項目の最大表示桁数である。つまり、それぞれの項目に（例えば、テキストの表示領域や、ボタン上に）何文字までテキストが表示可能か（入りきるか）を示している。

【００３３】

辞書テーブル６２０は、項目名称（項目名称６２１）ごとに、他言語に変換した場合の項目の正式名称６２２、略称６２３が記憶されている。また、正式名称桁数６２４、略称桁数６２５が記憶されている（桁数記憶手段に該当）。以上が図６の、本発明の実施形態における、各種データテーブルの構成の一例についての説明である。

【００３４】
次に図３を参照して、本発明の実施形態における、項目の設定処理の流れについて説明する。図３は、本発明の実施形態における、項目の設定処理の流れを示すフローチャートである。
【００３５】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、ユーザからメインメニュー画面の表示指示を受け付け（ステップＳ３０１）、図５に示すメインメニュー画面を表示する（ステップＳ３０２）。そして、メインメニュー画面表示に際して、不図示の言語選択画面を表示し、ユーザ操作による言語選択指示を受け付ける（ステップＳ３０３）。
【００３６】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、選択を受け付けた言語を、項目名称（ラベル）の変換先の言語として決定し、外部メモリの所定の領域に記憶する（ステップＳ３０４）。
【００３７】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、メインメニューに表示されているボタン５０１、ボタン５０２、ボタン５０３のいずれかの押下指示を受け付ける（つまり、ボタンに対応する遷移先の画面に、表示を遷移させる指示を受け付ける／ステップＳ３０５）。
【００３８】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、ユーザ操作により選択されたボタンの遷移先の画面ＩＤを特定し、画面グルーピングテーブル６００（図６）を検索し、遷移先の画面と同じグループＩＤの画面ＩＤ（グループＩＤ及び画面ＩＤ）を特定する（ステップＳ３０６）。
【００３９】
そして、特定したグループＩＤをグループＩＤ７０１に設定した項目表示設定テーブル７００／図７で後述）を生成して外部メモリ１１１に記憶し、グループ内の項目名称ごとの最小の表示桁数を、画面グループにおける表示桁数６１４を参照して特定し、記憶する。
【００４０】
ここで図７を参照して、本発明の実施形態における、項目表示設定テーブルの構成の一例について説明する。図７は、本発明の実施形態における、項目表示設定テーブルの構成の一例を示す図である。項目表示設定テーブルは、ＰＣ１００の外部メモリ１１１に生成され、記憶される。
【００４１】
項目表示設定テーブルとは、画面グループごとに（画面に）表示する項目名称を統一するために、画面グループにおける項目名称の表示場所（項目）の最小表示可能桁数を、項目名称ごとに記憶するテーブルである。
【００４２】
当該項目表示設定テーブルを作成することにより、例えば「倉庫」を英語翻訳・変換した場合の「ＷａｒｅＨｏｕｓｅ」（又は略称「W／H」）を表示する、画面グループ内の表示領域（項目）の最小桁数が特定可能である。
【００４３】
画面グループ内において「倉庫」を表示する項目のうち最も短い項目に表示可能な変換後の文字（ここでは、「ＷａｒｅＨｏｕｓｅ」または「W／H」）を採用することで、画面グループ内の各画面において、同一項目名称を示す変換後の文字が、ばらばらに表現・表示されることを防止することができる。つまり、例えば、「倉庫」を変換した場合、図１０の１０００に示すように、画面Ａでは「W／H」と表示し、図９の９１０に示すように、画面Ｃ－１では「ＷａｒｅＨｏｕｓｅ」と表示されることを防ぐことができる。
【００４４】
また、図８の画面８１０における「倉庫」の項目に示すように、項目に変換後の文字が入りきらなくなることを防ぐことができる。
【００４５】
例えば、図１０の１０００及び１０１０に示すように、両画面において「W／H」の文

字を変換先の文字として採用して表示することができる。
【００４６】
項目表示設定テーブル７００は、ステップＳ３０７時点での項目表示設定テーブル７００の様子を示す。項目表示設定テーブル７１０は、後述するステップＳ３０８～Ｓ３１５の処理を完了した場合の項目表示設定テーブルの様子を示す。
【００４７】
グループＩＤ７０１は、画面グループの識別情報である（＝グループＩＤ６０１）。項目名称７０２は、項目の名称を示す。最小表示桁数７０３は、ステップＳ３０７でＰＣ１００のＣＰＵ１０１が特定した、グループＩＤ７０１の示す画面グループに属する画面群において、項目名称７０２の示す項目名称の表示領域（項目）のうち、最小の桁数が挿入されている。
【００４８】
表示値７０４は、グループＩＤ７０１の示す画面グループに属する画面において、項目名称７０２の変換先の項目名称として設定（決定／採用）された、最小表示桁数７１３に表示可能な（入りきる）表示値（項目名称に対応する正式名称または略称）が記憶される。
【００４９】
ＰＯＰＵＰ値７０５は、表示値７０４に略称が設定された場合に、対応する正式名称が記憶される。ＰＯＰＵＰの方法については図４の説明で後述する。
【００５０】
尚、グループＩＤ７１１、項目名称７１２、最小表示桁数７１３、表示値７１４、ＰＯＰＵＰ値７１５は、それぞれ、グループＩＤ７０１、項目名称７０２、最小表示桁数７０３、表示値７０４、ＰＯＰＵＰ値７０５と同一のため説明は割愛する。以上が図７の、本発明の実施形態における、項目表示設定テーブルの構成の一例についての説明である。
【００５１】
図３の説明に戻る。ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、ステップＳ３０８～Ｓ３１５の処理を、グループ内の全ての項目名称に対して実行、完了するまで繰り返す。
【００５２】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、ステップＳ３０６で特定したグループＩＤをグループＩＤ６０１に属する画面（画面ＩＤ６０２）を特定し、当該特定した画面の項目名称６１３のリストから１つの項目名称を取得する（ステップＳ３０９）。そして、当該項目名称を変換した場合の正式名称桁数６２４を取得（ステップＳ３０９）、略称桁数６２５を取得する（ステップＳ３１０）。
【００５３】
また、当該項目名称に対応する最小表示桁数を、項目表示設定テーブル７００の最小表示桁数７０３を参照して特定して（ステップＳ３１１）、正式名称桁数６２４と最小表示桁数７０３を比較し、正式名称桁数６２４が最小表示桁数７０３以下か判定する（ステップＳ３１２）。
【００５４】
正式名称桁数６２４が最小表示桁数７０３以下の場合（ステップＳ３１２でＹＥＳ）はステップＳ３１３に進む。正式名称桁数６２４が最小表示桁数７０３より大きい場合（ステップＳ３１２でＮＯ）はステップＳ３１４に進む。
【００５５】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、ステップＳ３１３において、正式名称６２２を取得して項目表示設定テーブル７００の表示値７０４に設定する。ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、ステップＳ３１４において略称６２３を取得して、項目表示設定テーブル７００の表示値７０４に設定する（ステップＳ３１５）。ここでは、例えば、ステップＳ３１４で、最小表示桁数７０３以下の略称のうち、桁数が最大の略称を辞書テーブル６２０から検索・特定するものとする。また、ステップＳ３１５で、ＰＯＰＵＰ値７０５に、正式名称の値を記憶する。つまり、項目表示設定テーブル７００を、項目表示設定テーブル７１０の状態

に更新する。

【００５６】

ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、グループ内の項目名称のうち未処理データが存在しない（全て処理を完了した場合）は、ステップＳ３０５で遷移指示を受け付けた遷移先画面の表示処理を実行する（ステップＳ３１６）。遷移先画面の表示処理については、図５の説明で後述する。以上が図３の、本発明の実施形態における、項目の設定処理の流れについての説明である。

【００５７】

次に図４を参照して、本発明の実施形態における、画面の表示処理の詳細について説明する。図４は、本発明の実施形態における、画面の表示処理の詳細を示すフローチャートである。

【００５８】

ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、メインメニュー画面において押下指示を受け付けたボタンに対応する画面ＩＤを不図示のテーブルを参照して取得し（ステップＳ４０１）、画面ＩＤをもとに画面項目定義テーブル６１０を検索して、画面ＩＤに紐づく項目名称を取得する（ステップＳ４０２）。

【００５９】

そして、別途予め外部メモリに記憶されている項目ＩＤごとの画面上の座標値（配置位置）の値と、項目表示設定テーブル７１０を参照して、言語を変換した、遷移先の画面イメージを生成して表示画面に表示する（ステップＳ４０３）。例えば、ここでは画面Ａ（図１０の画面１０００）を表示するものとする。当該画面上の項目の配置処理は公知の技術を用いるため、詳細な説明は割愛する。

【００６０】

ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、画面上のマウスカーソルの位置をＯＳから取得して特定し（ステップＳ４０４）、画面上の項目の配置位置と項目ＩＤが対応付けられた不図示のテーブルを参照して、マウスカーソルがいずれかの項目上にあるか判定する（ステップＳ４０５）。

【００６１】

マウスカーソルが項目上にないと判定した場合（ステップＳ４０５でＮＯ）、処理をステップＳ４０９に移行する。マウスカーソルが項目上にあると判定した場合（ステップＳ４０５でＹＥＳ）、マウスカーソルの下にある項目の項目ＩＤを特定し（ステップＳ４０６）、項目表示設定テーブル７１０を参照して、当該項目に表示値として略称が設定されているか判定する（ステップＳ４０７）。

【００６２】

略称が設定されている場合（ステップＳ４０７でＹＥＳ）、ＰＯＰＵＰ値７１５を取得して、図１２の画面１２００に示すように、マウスカーソル下の項目に対応する正式名称を識別可能なポップアップを表示する（正式名称表示手段に該当）。

【００６３】

これにより、当該画面グループにおいて略称が採用されていることをユーザに通知することができる。

【００６４】

また、略称に対応する正式名称をユーザに通知することができる。

【００６５】

略称が設定されていない場合（正式名称が設定されている場合／ステップＳ４０７でＮＯ）、処理をステップＳ４１２に移行する。

【００６６】

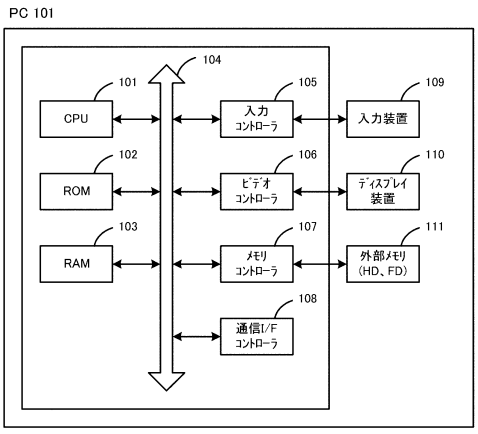
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、表示中の画面ＩＤの属するグループのうち、当該画面の遷移元の画面とは異なるグループを特定する。例えば、画面Ｂから遷移して画面Ｃ－１を表示している場合、画面Ｂの属しているＧ００２のグループ以外で、画面Ｃ－１の属しているグループを特定する。ここでは、画面Ａ、画面Ａ－１、画面Ｃ－１、画面Ｃ－２が属

するグループＧ００１を特定したものとする。
【００６７】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、当該特定したグループ（Ｇ００１）において、マウスカーソル下の項目の表示値に略称が設定されているかを、グループＧ００１の項目表示設定テーブル７１０を参照して判定する（ステップＳ４１２）。
【００６８】
略称が設定されていない場合（正式名称が設定されている場合／ステップＳ４１２でＮＯ）、処理をステップＳ４０９に移行する。略称が設定されている場合（ステップＳ４１２でＹＥＳ）、図１３に示すように、マウスカーソル下の項目に対応する、当該他のグループで採用されている略称を特定して（表示内容特定手段に該当）識別可能に表示する（ポップアップ表示する／ステップＳ４１３）。
【００６９】
例えば、図１１の画面１１１０に示すように、画面Ｂにおいては「倉庫」が「ＷａｒｅＨｏｕｓｅ」と変換、表示されている。また、図９の画面９１０に示すように、画面Ｃ－１においても「倉庫」を「ＷａｒｅＨｏｕｓｅ」と変換、表示可能な場合、グループＧ００２において、項目名称「倉庫」の表示値７１４＝「ＷａｒｅＨｏｕｓｅ」と設定されることになる。
【００７０】
ステップＳ４１２～Ｓ４１３の処理によれば、画面Ｂから遷移した画面Ｃ－１において「ＷａｒｅＨｏｕｓｅ」の項目上にマウスカーソルを移動させた場合、図１３の画面１３００ように、グループＧ００１における「倉庫」の項目の表示値７１４に設定されている「Ｗ／Ｈ」（ＷａｒｅＨｏｕｓｅの略称）がポップアップ表示されることになり、ユーザは、他の画面グループの画面におけるいずれの項目が、表示中の画面におけるいずれの項目に相当するかを容易に確認することができる。
【００７１】
ＰＣ１００のＣＰＵ１０１は、ステップＳ４０９でユーザ操作による指示を受け付け、受け付けた指示が画面遷移の指示か判定する（ステップＳ４１０）。画面遷移指示の場合（ステップＳ４１０でＹＥＳ）、遷移先がメインメニュー画面か判定する（ステップＳ４１１）。
【００７２】
遷移先がメインメニュー画面である場合（ステップＳ４１１でＹＥＳ）、処理を図３のステップＳ３０２に移行する。遷移先がメインメニュー画面でない場合（ステップＳ４１１でＮＯ）、処理をステップＳ４０１に移行する。
【００７３】
ステップＳ４０９で受け付けた指示が画面遷移指示でない場合（ステップＳ４１０でＮＯ）、ここでは画面の表示終了の指示を受け付けたものとして、処理を終了する。以上が図４の、本発明の実施形態における、画面の表示処理の詳細についての説明である。
【００７４】
以上説明したように、本発明によれば、複数の画面における項目の状態に応じて画面のレイアウトが可能な仕組みを提供することができる。
【００７５】
例えば、画面の遷移関係に応じて、項目の表示を統一するように項目名称を設定することができる。
【００７６】
また、ユーザに対して、他のグループにおいて表示されるいずれの項目が、表示中の画面におけるいずれの項目に相当するかを容易に確認させることができる。
【００７７】
本発明は、例えば、システム、装置、方法、プログラム若しくは記憶媒体等としての実施形態も可能であり、具体的には、複数の機器から構成されるシステムに適用してもよいし、また、１つの機器からなる装置に適用してもよい。

【００７８】
なお、本発明は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムを、システム或いは装置に直接、或いは遠隔から供給するものを含む。そして、そのシステム或いは装置のコンピュータが前記供給されたプログラムコードを読み出して実行することによっても達成される場合も本発明に含まれる。
【００７９】
本発明の機能処理をコンピュータで実現するために、前記コンピュータにインストールされるプログラムコード自体も本発明を実現するものである。つまり、本発明は、本発明の機能処理を実現するためのコンピュータプログラム自体も含まれる。
【００８０】
その場合、プログラムの機能を有していれば、オブジェクトコード、インタプリタにより実行されるプログラム、ＯＳに供給するスクリプトデータ等の形態であってもよい。
【００８１】
プログラムを供給するための記録媒体としては、例えば、フレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、ＭＯ、ＣＤ－ＲＯＭ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷなどがある。また、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ＲＯＭ、ＤＶＤ（ＤＶＤ－ＲＯＭ，ＤＶＤ－Ｒ）などもある。
【００８２】
その他、プログラムの供給方法としては、クライアントコンピュータのブラウザを用いてインターネットのホームページに接続する。そして、前記ホームページから本発明のコンピュータプログラムそのもの、若しくは圧縮され自動インストール機能を含むファイルをハードディスク等の記録媒体にダウンロードすることによっても供給できる。
【００８３】
また、本発明のプログラムを構成するプログラムコードを複数のファイルに分割し、それぞれのファイルを異なるホームページからダウンロードすることによっても実現可能である。つまり、本発明の機能処理をコンピュータで実現するためのプログラムファイルを複数のユーザに対してダウンロードさせるＷＷＷサーバも、本発明に含まれるものである。
【００８４】
また、本発明のプログラムを暗号化してＣＤ－ＲＯＭ等の記憶媒体に格納してユーザに配布し、所定の条件をクリアしたユーザに対し、インターネットを介してホームページから暗号化を解く鍵情報をダウンロードさせる。そして、ダウンロードした鍵情報を使用することにより暗号化されたプログラムを実行してコンピュータにインストールさせて実現することも可能である。
【００８５】
また、コンピュータが、読み出したプログラムを実行することによって、前述した実施形態の機能が実現される。その他、そのプログラムの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているＯＳなどが、実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によっても前述した実施形態の機能が実現され得る。
【００８６】
さらに、記録媒体から読み出されたプログラムが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれる。その後、そのプログラムの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるＣＰＵなどが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によっても前述した実施形態の機能が実現される。
【００８７】
なお、前述した実施形態は、本発明を実施するにあたっての具体化の例を示したものに過ぎず、これらによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されてはならないものである。即ち、本発明はその技術思想、又はその主要な特徴から逸脱することなく、様々な形で実施することができる。

【符号の説明】
【００８８】
１００　ＰＣ
１０１　ＣＰＵ
１０２　ＲＯＭ
１０３　ＲＡＭ
１０４　システムバス
１０５　入力コントローラ
１０６　ビデオコントローラ
１０７　メモリコントローラ
１０８　通信Ｉ／Ｆコントローラ
１０９　入力デバイス
１１０　ディスプレイ
１１１　外部メモリ

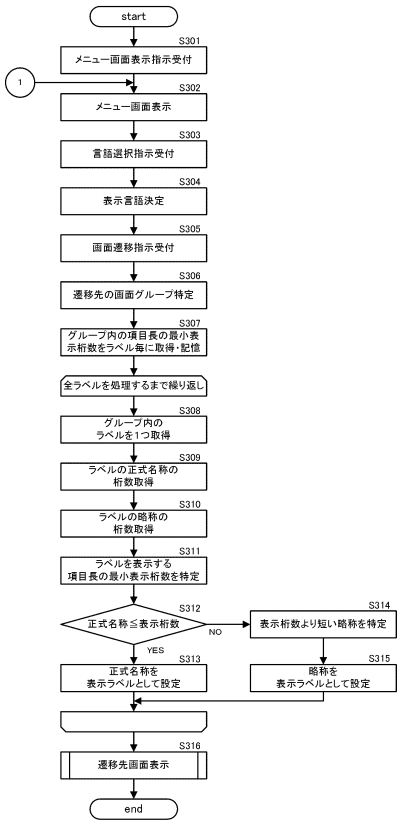
【図１】



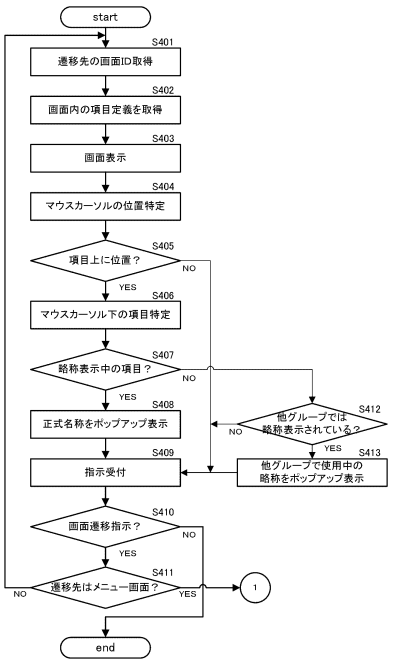
【図２】



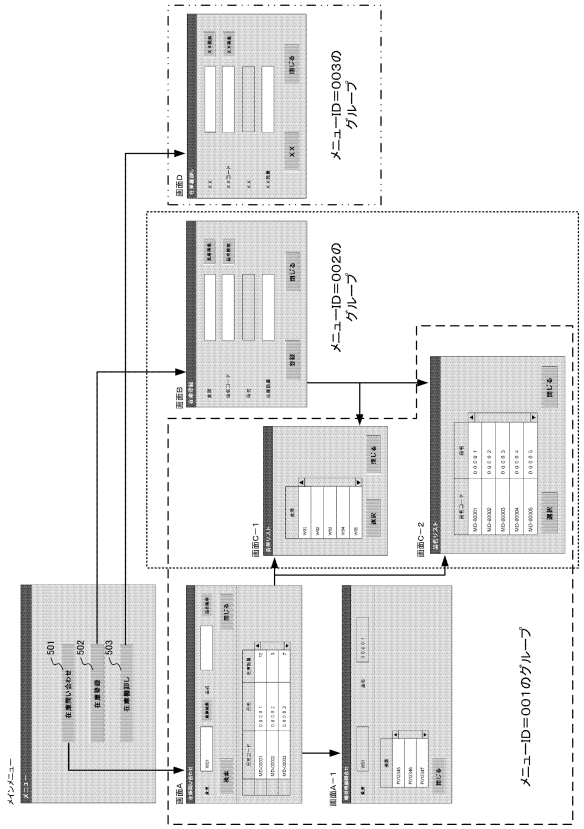
【図３】



【図４】



【図５】



【図６】

画面グルーピングテーブル 600

601 グループＩＤ	602 画面ID
G001	画面A
G001	画面A-1
G001	画面C-1
G001	画面C-2
G002	画面B
G002	画面C-1
G002	画面C-2
G003	画面D

辞書テーブル 620

621 項目名称(ラベル)	622 正式名称	623 略称	624 正式名称桁数	625 略称桁数
品名	Model	MDL	5	3
品名コード	Model code	MDL_CD	10	6
筐体	Serial No.	S/N	10	3
倉庫	Warehouse	W/H	9	3
伝票No.	Slip No.	SLIP	8	4
受注No.	Order No.	O/N	9	3
出荷日	Ship date	SHIP DT	9	7
在庫数量	Stock Quantity	STK QTY	14	7
在庫問合せ	Stock inquiry	Stock Inq.	13	10
検索	Search	Src.	6	4
閉じる	Close	Cls.	5	4
機番明細問合せ	Serial No. List	S/N List	15	8

画面項目定義テーブル 610

611 画面ID	612 項目ID	613 項目名称(ラベル)	614 表示桁数
メニュー	title	メニュ	50
メニュー	b_menu01	在庫問い合わせメニュ	30
メニュー	b_menu02	在庫登録メニュ	30
メニュー	b_menu03	在庫棚卸しメニュ	30
画面A	title	在庫問合せ	50
画面A	c_wh	倉庫	6
画面A	b_wh	倉庫検索	8
画面A	d_md	品名	6
画面A	b_md	品名検索	8
画面A	d_md_cd	品名コード	10
画面A	d_md	品名	10
画面A	d_qty	在庫数量	10
画面A	b_search	検索	6
画面A	b_close	閉じる	6
画面A-1	title	機番明細問合せ	50
画面A-1	c_wh	倉庫	6
画面A-1	c_md	品名	6
画面A-1	d_serialno	機番	10
画面A-1	b_close	閉じる	6
画面C-1	title	倉庫リスト	50
画面C-1	d_warehouse	倉庫	10
画面C-1	b_select	選択	6
画面C-1	b_close	閉じる	6
画面C-2	title	品名リスト	50
画面C-2	d_md_cd	品名コード	10
画面C-2	d_md	品名	6
画面C-2	b_select	選択	6
画面C-2	b_close	閉じる	6
画面B	title	在庫登録	50
画面B	c_wh	倉庫	10
画面B	b_wh	倉庫検索	8

【図７】

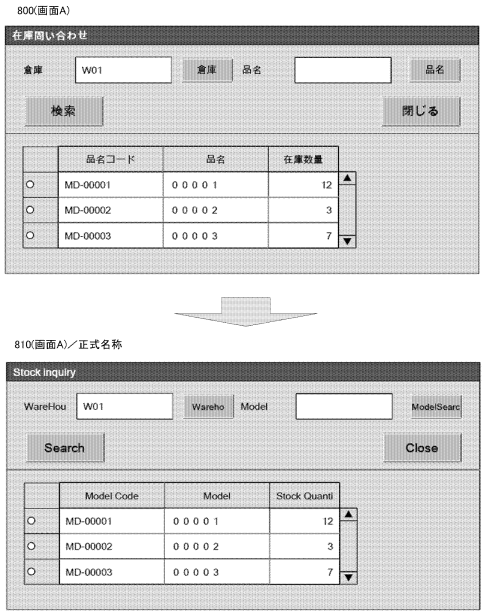
項目表示設定テーブル 700

701 グループＩＤ	702 項目名称(ラベル)	703 最小表示桁数	704 表示値	705 POPUP値
G001	在庫問合せ	50		
G001	倉庫	6		
G001	倉庫検索	8		
G001	品名	6		
G001	品名検索	8		
G001	品名コード	10		
G001	在庫数量	10		
G001	検索	6		
G001	閉じる	6		
G001	機番明細問合せ	50		
G001	機番	10		
G001	倉庫リスト	50		
G001	選択	6		
G001	品名リスト	50		

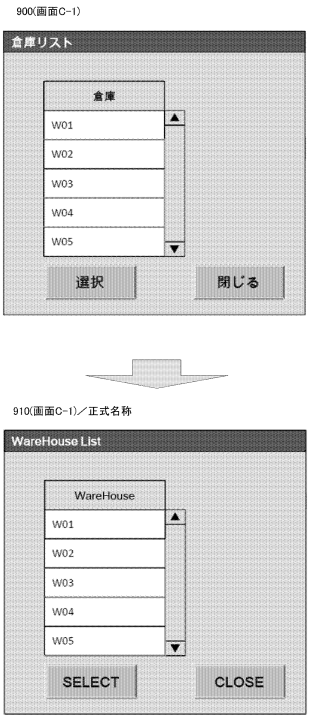
項目表示設定テーブル 710

711 グループＩＤ	712 項目名称(ラベル)	713 最小表示桁数	714 表示値	705 POPUP値
G001	在庫問合せ	50	Stock inquiry	
G001	倉庫	6	W/H	Warehouse
G001	倉庫検索	8	W/H S	Warehouse Search
G001	品名	4	Model	
G001	品名検索	8	MDL S	Model Search
G001	品名コード	10	Model Code	
G001	在庫数量	10	STK QTY	Stock Quantity
G001	検索	6	Search	
G001	閉じる	6	Close	
G001	機番明細問合せ	50	Serial No. List	
G001	機番	10	Serial No.	
G001	倉庫リスト	50	WareHouse List	
G001	選択	6	Select	
G001	品名リスト	50	Model List	

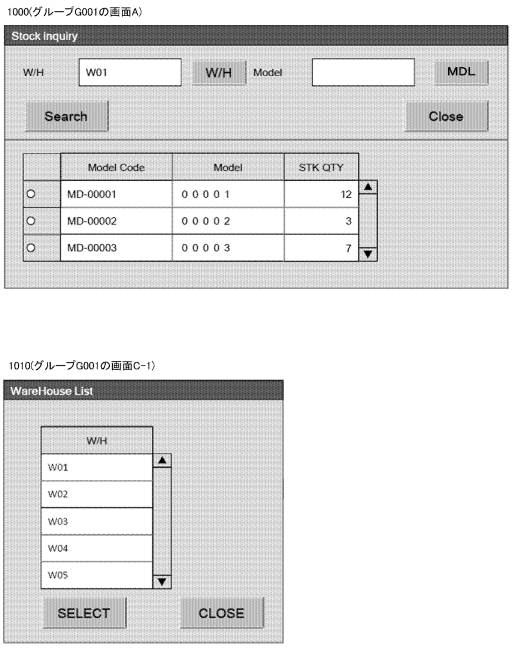
【図８】



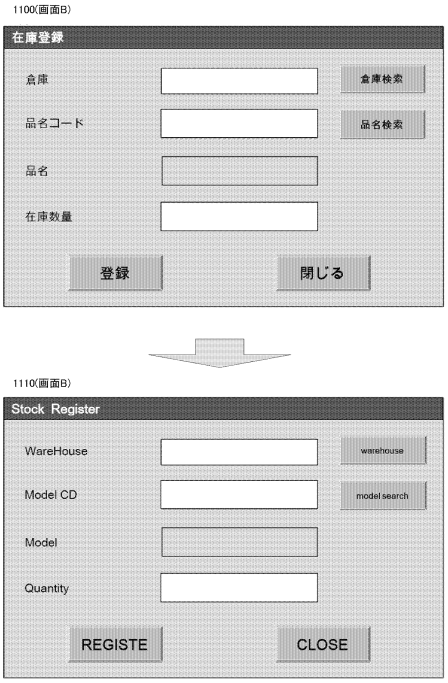
【図９】



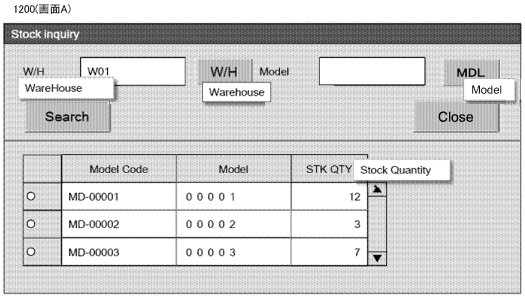
【図１０】



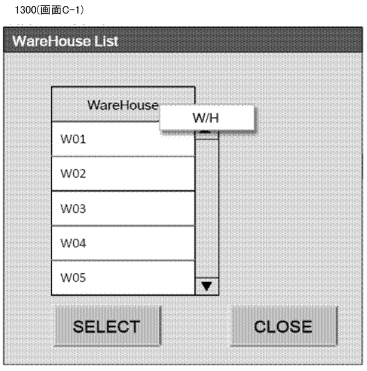
【図１１】


1100(画面B)
在庫登録
倉庫
倉庫検索
品名コード
品名検索
品名
在庫数量
登録
閉じる
1110(画面B)
Stock Register
WareHouse
warehouse
Model CD
model search
Model
Quantity
REGISTE
CLOSE

【図１２】


1200(画面A)
Stock inquiry
W/H
W01
WareHouse
W/H
Model
Warehouse
MDL
Model
Search
Close
Model Code
Model
STK QTY
Stock Quantity
MD-00001
00001
12
MD-00002
00002
3
MD-00003
00003
7

【図１３】


1300(画面C-1)
WareHouse List
WareHouse
W/H
W01
W02
W03
W04
W05
SELECT
CLOSE

フロントページの続き

審査官　斎藤　厚志

(56)参考文献　特開２０１２－０３３００９（ＪＰ，Ａ）
特開２００９－５３９４３（ＪＰ，Ａ）
特開２００６－８５５８１（ＪＰ，Ａ）
特開２００９－５９１４６（ＪＰ，Ａ）
特開２０１１－１５４５７５（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０９Ｇ　　５／００　－　５／４２
Ｇ０６Ｆ　　３／１４